

めぐみ 慈 心

敬愛幼稚園／敬愛中学校／敬愛高等学校

〒800-0035 北九州市門司区別院6番1号

中・高 TEL 093-381-3537 FAX 093-391-8049

幼稚園 TEL 093-371-2267 FAX 093-391-9385

敬愛小学校

〒800-0057 北九州市門司区大里新町11番7号

TEL 093-381-0611 FAX 093-381-0601



10月30日「下町ロケット」のモデルでもある植松努さん来校

ことば

教養とは、人の気持ちが分かること

養老孟司

私たちは、この世に生を受けたその瞬間から、さまざまな形で学び続けています。日々の暮らしの中で見聞きし経験することのすべてが、成長の糧として重要な学びの要素であり、それが基となって教養が備わっていくのでしょう。教養とは「学問や知識を身につけること」によって得られる心の豊かさや物事への理解力「『明鏡国語辞典』と定義されるように、ただ単に知識の習得にとどまるものではありません。そこで身につけた知識をどう生かすか。言い換えれば、何のために学ぶのかということが常に問われているでしょう。

もちろんそれは、自分自身を成長させ、人生を豊かに、そして幸福なものにしていくためなのでしょうが、言うまでもなく私たちは、一人では生きていきません。どんなときも、多くの人との関わりの中に身を置いて生きていることを思えば、他者とともに生きる道を求めていくところにこそ、人生を豊かに生きる道が開けるのではないかと思います。

そのためにも、他者との円滑な関係を築くことが不可欠ですが、それがそう簡単にはできないことではありません。人の悩みの多くは人間関係にあると言われるように、人との関わりは切実な問題です。そこには、相手の気持ちを理解することの難しさがありません。その事実を踏まえた上でなお、分かろうとすることを諦めるのではなく、分かりたいと思う気持ちが大切なのではないでしょうか。教養を身につけるのに、これで完成ということがないように、どんなに相手のことを理解したつもりでも、完全に分かり得ることはありません。ただ、どこまでも未完成の私が、不完全なままに生きていくことの自覚が、他者と共に生きるあり方を構築していくのでしょうか。私にできることは、いつまでも学び求め続けること。ぴったりと重ならなくても、誰かがそばにいてくれるだけで心が安らぎます。私もまた、人の気持ちに寄り添える存在でありたいと思います。

宗教科 谷川宏済

いつもの「敬愛祭」が戻って来た！！

9月15日(金)～16日(土)に、敬愛祭を開催しました。

今年の敬愛祭のテーマは、「敬愛の原動力を奏でよう 青春の幻想曲を」。それぞれの個性が輝き、それぞれの輝きが一つの幻想曲となった2日間でした。

初日は、校内ステージ発表、翌日は一般公開となり、両日とも生徒たちがイキイキと活躍していました。また、一般公開の際には、多くの来校者の方に来ていただき、たくさん笑顔が見られ、素晴らしい「敬愛祭」になりました。

『校長先生からのメッセージ』

今年度も、無事に敬愛祭を開催することができました。ようやくコロナ感染拡大前の学園祭にほぼ戻ることができました。保護者や地域の方々、店舗の方々には、さまざまなか所でご協力いただき本当にありがとうございました。文化部の活動発表の場として、また個人の特技披露の場として、ステージ部門・展示部門ともに賑やかに行われました。参加している生徒一人ひとりとも輝いていました。

今年度は、地域参加型のバザーや催しも復活しました。この企画は、地域と学校を繋ぐ大きな役割を担っており、学校による教育活動を地域へ紹介・発信していく良い機会でもあります。今後も、地域と学校の絆を深める場としても敬愛祭の意義は大きくなっていくと思います。



今回の敬愛祭は、今まで猛威を振るっていたコロナ禍での制約から脱却し、一人一人の個性を最大限に生かすことが出来たと思います。屋台を出したり、ステージ発表をしたりとどのクラスもその日に至るまでたくさん協力し合い、色々なものを作成したり、ステージ発表の練習をしたりと、とても充実した期間になりました。

今まで関わることのなかった学年の人と触れ合えたことで、今まで知ることのなかった良いことにもたくさん気づくことができて、とても思い出に残る素晴らしい敬愛祭になったと思います。

高校2年

大隈 真心音(守恒中出身)



今回、私は敬愛祭の実行委員になりました。一般公開では、受付・案内の係を担当し、校内を歩き回り、来校者の方への対応にあたりました。ある女性から図書室の場所を聞かれました。私は案内係だったので、図書室まで案内しました。図書室まで案内すると、その女性から「ありがとう。本当に助かりました。」と感謝されてとても嬉しい気持ちになりました。高校に進学しても、学校行事に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

中学3年

水野 佑紀(名池小出身)



グローバル探究コース取り組み紹介

世界を知る探究活動

スーダンで医療活動を行っているNPO法人ロシナンテスの川原尚行代表と、『世界を知る』探究活動の教育プログラムを開発し、取り組みを5月から9月の期間で進めてきました。スーダンの現状を日々の生活や文化など身近なところから学び、課題をどのように解決していけば良いかをグループで考え、川原夫妻をお招きし、最終プレゼンで提案を発表しました。川原代表からは、「日本でスーダンについてここまで調べている学校は、敬愛が一番です。実践に繋がっていきけるよう頑張ってください。」と激励していただきました。今後も学びを深めていきましょう。



興味関心を広げる講座

グローバル探究コースは、土曜日に授業を実施せず、有効に活用してもらえようように自由度を高めています。生徒の皆さんに興味関心を広げてもらう取り組みとして、『じぶんデザイン講座』を開いています。興味のある講座を自分で選んで受講できる仕組みです。1年間を前期と後期に分けて、講座を5コマずつ設定しています。前期では、「韓国語講座」「異文化交流講座」「情報検定講座」「起業講座」など色々な分野を学ぶことができました。生徒の皆さんが、様々な取り組みを通じて、前向きにチャレンジできるようになってきています。これからも楽しんで自分を成長させていきましょう。



4s Dream Festival 開催

敬愛生有志「4s PROJECT」メンバーが地域活性化のため8月27日に、音楽イベント「4s Dream Festival」を、ミクニワールドスタジアムで開催しました。
「4s PROJECT」メンバーは昨年の11月から準備を進めてきました。運営費をクラウドファンディングを通じて集め、多くの方々のご協力をいただきながら、当日を迎えました。7月9日に門司港レトロの中央広場で開催予定でしたが、大雨のため延期となっていました。応援していただいた地域や企業の皆様にも、残念な思いをさせることへの辛さや、何より準備をしてきた実行委員メンバー自身にとっても大きなショックでした。



この状況からでもメンバーは、日程や場所の確保、出演者の交渉など多くの役割をクリアし、8月27日に無事開催することができました。
開会式には、門司区長にご挨拶いただき、午後には、北九州市長にもお越しいただきました。
授業の一環である「探究活動」で始めたことがきっかけとなり、高校生たちがイベントを企画し、地域企業や大学生たちを巻き込んで開催できたのは、敬愛だけでなく地域でも珍しい取り組みだと思います。高校生たちの思いの強さと実行力を感じることができたイベントでした。
これからの社会課題の解決に向けて取り組んでいきましょう。

公開研修3年目を迎える今年は、「ICT機器を活用した学習者主体の学びづくりを考える」というテーマを設定し、9月30日に「ICT公開研修会2023」を開催しました。1年生から6年生までの全12クラスの授業を公開するとともに、教科別交流会・桃山学院教育大学の木村先生による講演会・ロイロ認定ティーチャーの5名の先生方による実践事例紹介を実施いたしました。

関東・中部・関西・中国、そして九州各県から総勢120名を超える教育関係者の皆様をお迎えし、参加者の皆様とたくさん意見交流を行うことができました。

今回の研修会では、受付や初心者講習会は、本校の6年生が担当。元氣よく挨拶を行い、丁寧にiPadやロイロノートの説明を行いました。開会式では、龍校長による本校の教育の特色を紹介し、その後、2時間、授業を公開しました。はじめは少し緊張していた子どもたちでしたが、時間が経つにつれ日頃の姿に戻り、生き生きと授業に参加して



ていました。4年生の児童は、「頑張って発表しました。ドキドキしましたが、たくさん先生方に僕たちの授業を見ていただいて嬉しかったです。」と笑顔で話をしてくれました。教職員だけではなく、子どもたちも刺激を受けた公開研修会になったよう

参加された先生方の声

シンキングツールの使い方が見れたことが一番勉強になりました。子どもたちもiPadに慣れているだけではなく、学習に向かう姿勢が素晴らしいかったです。私のクラスも見習いたく思いました。



敬愛小学校では先生方がiPadやロイロノートありきではなく、授業のどの場面で見ているのが効果的なのかをよく吟味され利用しているのがよく分かりました。授業や分科会でヒントを頂きましたので、本校でも今から広げていきたいと思いました。(小学校教諭)

受付の子どもたちに感激しました。日頃からの素晴らしい教育の賜物だと思います。また、授業では質の高さはもちろんのこと、生き生きとした子どもたちの姿を見て思わず涙が出てきました。先生方の確かな授業力とお人柄に、大変感銘を受けました。

ロイロノートの使い方も、少し工夫するだけでこんな使い方もできるのかと、驚きました。講師の先生方の貴重なお話も聞くことができ、早速来週から取り入れていきたいと思えました。(教育委員会)

第6回 Keiai EXPO開催

多様な意見をもとに広い視野から解決の道を探る姿勢の育成を目指してはじめた、「Keiai EXPO」も6回目を迎えました。また、本年度は、開校20周年の節目ということもあり、学校保護者会の皆様が、新しい企画も準備していただき、盛大に「Keiai EXPO」を開催いたしました。

1年生は、クラスごとに「大きなかぶ」の音読劇、2年生は、オリジナルのおもちやを製作してのお店屋さん、3年生はビブリオトークバトル、4年生は、「ゴミ問題」に関するプレゼンテーション、5年生は、「今、伝えたいこと」と題して、1組は「豊かさとは何か?」、2組は「私たちが理想とする教育の姿」についてのプレゼンテーション、6年生は、5月からJICA九州様のご指導のもと取り組んできた「アングラ・スリランカの諸問題の解決策を考える」プレゼンテーションを行いました。全学年とも、今までの学習成果を発揮し、様々な工夫を行い、素晴らしい発表でした。

また、学校保護者会主催のバザーでは、買い物やオリジナルゲームを楽しみました。そして今年度は、企業の皆様にご協力いただき、様々なブースで体験授業を行っていただきました。まるで、学校がキツザニアになったようでした。子どもたちが生き生きと活動して、学校全体が笑顔に包まれた1日になりました。

ご協力いただきました、企業の皆様
 ・野上神仏具店様 ・株式会社ゼンリン様
 ・TOTO様 ・シャボン玉石けん様
 ・小倉編織様 ・岡野バルブ製造株式会社様
 ありがとうございます。



幼稚園通信

第46回 運動会

心地の良い風の吹く中、第46回運動会を学園グラウンドで開催しました。年長児のマーチングで華々しく開会し、各学年のかけっこやバルーン、集団体操と、子どもたちの生き生きとした姿をたくさんのお客様に見て頂くことができました。年長児の集団体操は、初めての演目でしたが、友だちや先生と一つ一つを作り上げていきながら、相手と息を合わせることの難しさと面白さを体験し、当日、大成功を収め、喜びと感動を分かち合いました。毎日少しずつ練習を重ね、努力の積み重ねを披露し、たくさんのお褒めの言葉を頂いて、子どもたちは最高の笑顔を見せてくれました。



保護者の感想より

◆当日はどの学年も見応えがあり可愛らしくもあり、楽しく過ごすことができました。「バルーンは疲れる」と言っていました。本番は手をしっかり上げて行進したり、体操をし、バルーンも上手にしている姿に安心しました。

◆ブログなどで写真を掲載してくださったのは、娘の立ち位置を把握できたので、とても助かりました。

◆たまごくらぶのミニ運動会に参加したときは、かけっこで私から離れることができずに泣いていた息子ですが、ゴールに向かって一生懸命走っている姿を見て、成長に涙ができました。椅子体操も、指揮の先生をしっかりと見て、かっこよく可愛く頑張っている姿に、感動しました。

◆運動会のプログラム表や、入場門、飾付けまで先生方の思いを感じ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今までなかなか団体行動に関心を持てなかった息子が、一生懸命に自宅練習をしたり、本番に取り組む姿に成長を感じる事もできました。

園長先生のiPad Time



年長さんは、月に一回「園長先生のiPad Time」があります。一人一台のiPadで今回は英語での自己紹介ビデオ撮影を行いました。週一回の英語教室では、自己紹介を英語で行う練習をしています。年少からの積み重ねで、発音も素晴らしく、上手に発表できるようになりました。iPad

dを駆使しながらの自己紹介に大きく成長した姿を見ることができました。

本園では、五感を使って学ぶ日常生活の中に、ほんの少しデジタルも取り入れながら、子どもたちの思考力・表現力を育成しています。幼児期から学童期にかけての子どもは、新しいことに挑戦する力や、そこから多くのことを吸収する力が特に高い時期です。世界で注目を集めている「非認知能力」が特に伸びる時期とも言われています。活動の中で、子どものオリジナリティを尊重し、「自分で考える力」を発揮できるように意識しながら、「99%のアナログと1%のデジタル」と題して、非認知能力の育成を目指して活用を進めています。

芋掘り遠足

コスモスの美しい芋畑に、芋ほり遠足に行きました。芋畑のお世話を下さっている西山さんにお芋の種類や特徴、お世話の方法などを伺い、いざ掘り始めると、大きなお芋がたくさん土の中から出てきて、子どもたちは大喜びでした。お芋だけでなく、こおろぎやバッタ、カエルなどもたくさん見つけたり、土のにおいや感触も味わい、多くの非日常を感じながらまた一つ大きく成長した子どもたちでした。



千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

浄土真宗本願寺派では、戦争によつて尊いいのちを失われたすべての方々を追悼し、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、毎年、「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」を勤修しています。今年で、43回目を迎えました。

この法要では、「次世代を担う青少年に、戦争と平和を自らの問題として受け止めてもらい、非戦・平和への取り組みをさらに強固なものにしていただきたい」という願いから、全国の宗門関係学校の中学生・高校生から「いのちの尊さ」「非戦・平和の大切さ」をテーマに作文を募集します。

今年は中学生の部で、本校2年生の安田さんの作品が最優秀賞に選ばれました。

最優秀賞

「輝く未来を信じて」

中学2年

安田 悠真（敬愛小出身）

僕は幼い頃、死ぬことが怖かった。

戦争の映像をテレビで観たり、本で読んだりすると、その悲惨さを想像して眠れなくなつた。

もしも、自分の住む町が、戦火に包まれたらどうしよう。つらい映像が、頭の中を駆け巡る。

でも、その一方で、自分の周りで戦争が起きるはずないと安心していった。戦争は、遠い昔の話だ。明日もこの平和な毎日が続くだろうと、僕は信じて疑わなかつた。

果たして今、本当にそうだと言いつけるだろうか。世界を見渡してみると、今もいろいろな地域で戦争や紛争が起きていることが分かる。

ウクライナで起きている戦争を毎日のように耳にして、心を痛めている人もいるだろう。もしかしたら、幼い子どもが、爆撃に巻き込まれているかもしれない。

幼い頃の自分と同じように、死への恐怖と闘いながら、眠れぬ夜を過ごしているかもしれない。そして、明日の平和を夢見ながら、小さな心を震わせているかもしれない。

そんな胸がしめつけられるような現実が、僕たちのすぐ近くで起こっている。

自分たちは大丈夫だなんて、誰が言えるだろう。今、戦火にある人々も、ほんの少し前までは、平和な毎日が続くと信じていたに違いないのだ。

誰もが明日が来るのを信じて毎日過ごしている。「明日も穏やかでありますように」と。その思いをいとも簡単に裏切ってしまうものだ。それが戦争なのだ。

今僕たちは、争いのない平和な毎日を過ごしている。そんな僕たちこそ、できることがきつとあるはずだ。それは、つらい体験をしてこられた方から、戦争の悲惨さ、愚かさ学び、世界に発信し続けることだ。過去を見つめ、その教訓を現在に生かそう。その先に、必ず明るい未来がやってくる、確かな希望をもつて。

僕は今、幼かつたあの頃の自分に語りかけたい。戦争について一緒に学ぼう。そして、輝く未来を自分たちの手で作っていかうと。そしてこの強い思いを、戦火に苦しむ世界中の人々に伝え続けたいと思う。

中学新生徒会紹介

敬愛に新しい風を吹かせます！



中学2年 田中 倅菜（敬愛小出身）

新生徒会長になりました田中倅菜です。私は旧生徒会の皆さんに憧れて、生徒会に入ることを決めました。また、自分たちの力で行事などを企画したり、校則の改善について議論したり、生徒の皆さんに学校生活を楽しんでもらいたいというのが一番です。私は生徒会長として、学校をより明るい雰囲気することを心がけて過ごしたいと思っています。最後に、生徒だけでなく先生達にも頼りにされる生徒会を作りたいです。1年間よろしくお願ひします。

さまざまな活動の成績

柔道部

マルちゃん杯全日本少年柔道大会 女子団体戦 準優勝
友田 幸葵・大石 碧海・田尻 彩希・田中 栞
玄海旗中学柔道大会 団体戦 優勝
岩澤 凜果・友田 幸葵・田中 栞・近藤 優莉乃

福岡県高等学校柔道新人大会 団体戦 優勝
48kg級 大谷 葉月 優勝 48kg級 才田 星名 3位
52kg級 大塚 翔稀 2位 57kg級 本田 里來 優勝
63kg級 緒方 愛花 2位 70kg級 福島 勇風 優勝
78kg級 田中 麗奈 優勝 78kg超級 山口 千弘 優勝

第67回日本学生科学賞 福岡県審査 努力賞

世界バトントワーリング選手権大会 2位

中学1年 池川 祐磨
高校2年 平山 璃音

卒業生からのメッセージ

令和元年度卒業 蟻木 百花 さん



私が自身の目標を見つけられたのは、間違いなく鎮西敬愛学園での生活があったからだ実感しています。入学当時、私は漠然と打ち込める何かに出会いたいと思っていました。そこで憧れからテニス部に入部しました。2週間で辞めました。勉強も運動神経も平均的、特別な才能があるわけでもない。

在校生の皆さん、初めまして。私は令和元年度に鎮西敬愛学園を卒業しました蟻木百花と申します。

私は卒業後、早稲田大学商学部に進学しました。現在は、政府系金融機関である日本政策金融公庫に勤務しています。

日本政策金融公庫は、一般の金融機関が行う金融を補完しつつ、国の政策に応じ、地域経済を支える中小企業や小規模事業者、農林漁業を営む方々を金融面からサポートしています。政策金融機関として、政策と、地域を繋ぎ、そして日本経済全体を支えるという重要な使命を担っています。私も春から公庫職員の一員として日々精進しています。

心して大学受験を志せなかったと思います。

皆さん、私は高校や大学では勉強だけでなく、どんな出会いや経験ができるかが大事だと考えています。なぜなら、私は高校での出会いが将来の夢に繋がったからです。より多くの人をサポートをしたい、その気持ちが大学や就職先に繋がりました。

私は勉強をする目的をこの学園で見つけました。この学園でなら、友人や先生など必ず素敵な出会いがたくさんあると思います。

皆さんも、ぜひこの学園で一つ一つの出会いを大切に学生生活を送っていただきたいと思っています。

最初に恩師に任された仕事は、本当にひたすら「トイレ掃除」。毎日続けると、それさえもにも出来ない人間が、より大きな仕事をするとはできないと気づかされました。自分よりも相手の立場で考えることの大切さ、そして相手に感謝されたときのやりがいがい程代え難いものなのかを初めて学びました。一方、私が生徒会活動等で疲弊していた時、本当に精神的に支えてくれたのが学園の友人達です。私の状況を理解し、勉強面など常に様々な面で手助けしてくれました。

私は彼等がいなければ、絶対に安



韓国姉妹校 訪問

8月21日から23日にかけて、韓国・晋州市にある姉妹校三賢女子中学校・高等学校を訪問しました。コロナの影響で、二〇一九年以来、4年ぶりの訪問です。今回は生徒27名と保護者の方も2名参加し、生徒は三賢の生徒の家で2泊3日のホームステイをしました。

到着時から大歓迎の中、歓迎式典で生徒会長が韓国語で挨拶をすると、大歓声と拍手の嵐でした。2日目はホストの生徒と一緒に授業を受けたり、螺鈿の手鏡づくりをしたりと、とても貴重な体験ができたようです。お別れのときはハグしあったり、記念写真を撮ったり、とても名残惜しゅうでした。二〇二四年の1月には三賢の生徒さんたちが来日し、同じくホームステイをします。学校と一緒に授業を受けたり、いろいろな体験ができるよう、準備をしていきたいと思っています。

【生徒の感想】

高校2年 重松 久慶

韓国に行く前は、韓国語を話せない事や慣れない環境で2泊3日の生活をするという事もあり、とても不安でした。しかし、実際に行ってみると、三賢のみなさんが私たちを暖かく迎えてくれ、韓国語を話せなくても英語を話したり、ジェスチャーで表したりしてくれたので様々なコミュニケーションをとることができました。また、1月下旬に三賢の生徒が日本を訪れるという事なので、日本の文化やこの学校の良さを伝え、より鎮西敬愛学園と三賢女子学園の親睦が深まるようにしたいです。



敬愛中学校・敬愛高等学校 2024年度入試日程

敬愛中学校

前期入試 1/4 木 一般入試 自己推薦入試

- ◇出願期間 11/24 (金) ~ 12/15 (金)
- ◇合格発表 1/6 (土)
- ◇手続日 (自己推薦) 1/10(水) ~ 1/13(土)
(一般) 1/10(水) ~ 1/16(火)
- ◇募集人数 九大医進Jコース 18名
特進コース 54名

※英語検定・漢字検定加点制度有り

- 英語検定 4,5級 5点 3級以上 10点
- 漢字検定 5,6級 5点 4級以上 10点

後期入試 2/3 土 一般入試 new

- ◇出願期間 1/14 (日) ~ 1/28 (日)
- ◇合格発表 2/6 (火)
- ◇手続日 (一般) 2/8(木) ~ 2/10(土)
- ◇募集人数 九大医進Jコース 2名
特進コース 6名

※英語検定・漢字検定加点制度無し

※国語・算数の試験のみ

敬愛高等学校 グローバル探究コース新設

推薦入試 1/19 金 A 推薦入試 B 推薦入試

- ◇出願 1/9 (火) ~ 1/16 (火)
- ◇合格発表 1/23 (火)

※英語検定・数学検定・漢字検定加点制度有り

- 英語検定 3級 5点 準2級以上 10点
- 漢字検定 3級以上 5点
- 数学検定 3級 5点 準2級以上 10点

一般入試 1/30 火 一般入試

- ◇出願 1/9 (火) ~ 1/16 (火)
- ◇合格発表 2/6 (火)

祝 世界ジュニア柔道選手権大会

2023年10月4日~8日 【開催地】ポルトガル



- 57kg級 準優勝
- 団体戦 優勝

本田 里来さん

おめでとうございます!

